

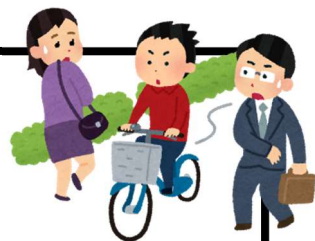
令和6年度

# 赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和7年3月19日(水)

校長 高橋 励



Dear Student(\*~\*)

“品性”ってコトバ、知ってますか？

～特別の教科道徳・ふりかえりの時間です～

道徳的基準から見た、その人の性質。人格。

【出典：デジタル大辞泉(小学館)】

という意味を持つコトバです(現代は、手元に辞書が無くても検索すればすぐに意味を確かめられます。ベンリな世の中になりましたね)。

“道徳的基準”というコトバが出てきましたが、“道徳”って何でしょう？

人々が、善悪をわきまえて正しい行為をなすために、守り従わねばならない規範の総体。外面的・物理的強制を伴う法律と異なり、自発的に正しい行為へと促す内面的原理として働く。

【出典：デジタル大辞泉(小学館)】

……ムズカシイ言い回しがたくさんあるので、ちょっと日常のコトバにしてみるとこんなカンジ？

自分が、人と一緒に毎日常生活をするうえで、お互いに気持ちよく暮らすために、お互いに心がけたい“お約束”。“しかられるから”ではなく、「こうしたほうがよりいいよな」って自分で気づいて行動するための道しるべになってくれる。

“品性”の有無は年齢によるとは限りません。オトナといわれる人でも品性のない振る舞いをする人はいます。そんなオトナを見て「オトナだってそうじゃん!」と試してみたところで、自分の心が

貧しくなるだけ(わたしはあなたに心豊かな人になってほしいと願いながら書いています)。

さて。まもなく令和6年度が終わります。あなたの“品性”はよりよく磨かれてきたでしょうか。



学級活動で、部活動で、委員会活動で、登下校の道で、遊びの中で、ネット上のコミュニケーションで、あなたは気持ちよいけれど、誰かに不快な思いや不安な思い、悲しい思いや寂しい思い、苦しい思いや辛い思い、etc. をさせていることはなかったでしょうか。

“インクルーシブな学校”という考え方からすれば、全員が同じ量の気遣いやガマンをしなればならないとは限らない、とわたしは思います。

「あの人だって同じことしてるじゃん!」と言っても、あなたの“品性”は曇るだけですから。

学校が、あなたにとっても、周りのだれかにとっても、同じように安全で安心できる場所であってほしいと、わたしも、先生たちも、あなたのおうちの人たちも、地域の方々も、みんなが願っています。願ってはいるけれど、そうしていかれるのは、一人ひとりのあなたです。4月を迎える前に、自分の“品性”を見つめる時間、持ちませんか？



\*\*\*\*  
ところで、部活動の帰り道、歩道をふさぐような歩き方をしている赤中生の一人にあなたはなっていますか？道をどう譲りあうかは“品性”の問題。“自発的”な“正しい行為”はその時々で異なります。いい判断したいですね。